

# 研修会等参加報告書

関市議会議長  
佐藤 善一 様

2010年4月9日

会派名 あらた  
議員名 尾関 健治

下記のとおり研修会等に参加しましたので報告します。

## 記

1. 日 時：2010年2月9日（水） 13時00分～17時00分
2. 研修等名：「全国・東海若手市議会議員の会」研修会
3. 場 所：静岡県静岡市
4. 会 場 名：静岡市役所  
バンダイホビーセンター
5. 研修目的：  
静岡市の「しずちカ情報ポケット」、「バンダイホビーセンター」、「S型デイサービス事業」の事例から、その特長と課題を学び関市の今後に資する。

## 6. 説明・調査内容

### 【しずチカ情報ポケット】

- ・静岡市の地域資源である「お茶」と「ホビー」と観光情報を組み合わせて、シティセールス事業を展開するために、静岡駅北口駅前広場に開設
- ・施設は、「情報コーナー」、「展示コーナー」、「お茶コーナー」により構成され、利用料金は無料（ただし、「お茶コーナー」の喫茶・物販は有料
- ・「お茶コーナー」では、静岡市の特産品である「お茶」を提供する喫茶・物販等を行い、静岡茶商工業協同組合が経営
- ・「展示コーナー」では、地場産品であるホビーに関する展示を行い、市内企業が2～3ヶ月交代で展示
- ・「情報コーナー」では、ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、人員を常時配置し、観光情報などを提供



写真1 喫茶コーナー（一茶）



写真2 店頭販売されている静岡茶

### 【バンダイホビーセンター】

- ・静岡県のプラモデルの全国シェアは90%以上であり、世界でも50%を超える割合
- ・いわゆる「ガンプラ」はすべてこの静岡工場生産されたものであり、パーツ部分の色分け（4色）ができる技術はバンダイの静岡工場だけであり、したがって、いわゆる「ガンプラ」はすべて「メイド・イン・ジャパン」で生産されたもの
- ・レーザーによって、細かなプラスチック加工も可能
- ・「等身大ガンダム」は、東静岡駅前に設置される予定
- ・現在、工場的一般見学は、インフルエンザの影響等もあって今は中止中



写真3 色分けされた材料

### 【S型デイサービス事業】

- ・旧清水市で展開されていた事業を、合併後、全市に拡大した事業であり、地元住民の自主的な組織である「地区社会福祉協議会」を立ち上げ、そこが主体となって地区公民館などでデイサービス事業を行うもの
- ・平成20年度で、全市で約3400回実施され、約4400人の高齢者の方が参加
- ・「S型」とは、静岡・清水の{S}、小規模（スモール）の「S」
- ・目的は、閉じこもり防止、介護予防、生きがいの創出、社会的孤立感の解消など
- ・対象者はおおむね65歳以上で、自力で開催会場に通えるか、もしくは家族の送迎が可能な方（送迎サービスは原則しない）
- ・1会場あたり月2回、9時～12時頃、20～30人が参加
- ・地区社協の区域については、旧静岡市域は「小学校区」、旧清水市域においては「連合自治会区」



写真4 静岡市議事堂前にて

## 7. 感想、所見等

### ①効果はどこまであるか

「しずちカ情報ポケット」については、静岡茶の喫茶コーナーについては、郷土の特産品を活かしたユニークな取り組みである。ただし、売上がどれくらいに上るか、承知していないが、アンテナショップのようなもの、という理解をすれば売上や利益は求めているかもしれない。

観光情報案内とホビー展示については、特に取り立てた特長は感じられず、それほどの効果は期待できないように思える。



写真5 ホビー展示

### ②まちの強力な武器

今回の視察を行うまで、静岡県がプラモデルの国内生産シェア9割を超えることは知らなかった。

今回、「ガンプラ」で有名な「バンダイ・ホビーセンター」の視察をさせても

らった。「ガンプラ」はすべて静岡工場で生産されており、その理由は日本にある技術力でしか色分け（4色）できないことによる。優位性低下が指摘されるわが国の技術力だが、こうした事例を知ると心強く感じる。

静岡市行政としては「バンダイ」「ガンダム」という、まちにとって「強力な武器」を持っていることは有利だ。今年の夏には、東静岡駅前に等身大ガンダムが立つ予定であり、将来的にはバンダイ・ホビーセンターに言わば「里帰り」するようだが、観光面からも今後の「ガンダム」効果は非常に大きなものとなることが予想できる。

静岡県・静岡市として、どのようにこの観光資源を活かしていくか、今後の課題である。



写真6 バンダイ工場内



写真7 東静岡駅前

### ③自らが地域を守る事業の一例

「S型デイサービス事業」の特長は、「地区社会福祉協議会」（市社会福祉協議会のように法律によらない団体）を住民主体で立ち上げて、そこが主体となった運営をしていることである。

関市の場合、「関市社会福祉協議会〇〇支部」として活動しているが、どうしても活動している住民は一部の役員などに偏りがちであり、その意味からは、住民主体で約100名弱から構成される地区社協の方が、参加意欲から活動の拡がりがあるかもしれない。現に、平成20年度の実績で、合計2,582名の方がボランティアとして事業の運営に携わっている。

「自らの力で、自らの地域を守る」という大きな目標に向かう手法として、参加される高齢者の方にとってはもちろん、それを支えるボランティアも含めた運営スタッフにとっても、「実践の場」、「気づきの場」となるものであり、関市にそのまま取り入れる



写真8 ヒアリング風景

必要はないにせよ、参考になる事業の一例だと考える。

8. 日程等：

2月9日

13：00～17：00 東海若手市議会議員の会・研修会

以 上